**【論点】**

**教育学専攻の学部生である私たちが卒業論文を書く際には、**

**どのような読者層を想定すべきか？**

**◆論点に至るまでの流れ**

**◇私たちはGPや卒業論文を書く際に、読み手を想定してきただろうか？**

Research counts for little if few read it. Yet even experienced researchers sometimes forget to keep their readers in mind as they plan and draft their report.（p.16 / l.4）

→研究は、読まれなければ価値がない。しかし、経験をつんだ研究者でさえ、ときに読み手のことを忘れ、論文の計画や草稿を書いてしまう。

**◇筆者が提示している読み手の想定パターン（p.26）**

①Professionals who expect me to follow every academic convention and use a standard format・・・学術的専門性の高い研究者（2.3.3）

②Well-informed general readers・・・知識豊富な一般読者（2.3.2）

③General readers who know little about the topic・・・ほとんど無知の一般読者（2.3.1）

⇒これに対応させて考えてみると・・・

**◇読み手が書き手に期待していること（p.26）**

①’help them understand something better

・・・読み手がより理解できるように助ける。（2.2.3）

②’help them do something to solve a practical problem in the world

・・・読み手が現実に起こっている問題（P.P.）を解決するのを助ける。（2.2.2）

③’entertain them / provide new factual knowledge

・・・読み手を楽しませる／新しい事実に基づく知識を与える。（2.2.1）

**◇p.22/l.3のSome beginning ～ p.22/l.8のyou can do with it.まで**

筆者は、③楽しい話・新しい知識を求める読者層を想定することは、それを求める聴衆相手であれば良いが、真剣な研究を報告しようとする生徒が相手だとうまくいかないと述べている。また、指導教官は、私たち書き手に「発見したこと（事実）」を報告するのでなく、「発見したこと（事実）を用いて何ができるか」の報告を求めているとも述べている。

**⇒学位論文における読者層の想定として、③は不適切！！**

★以上を踏まえ……

私たちは、①と②のどちらを読者層として想定すべきなのだろうか？？？